



松山 篤夫 議員

高山市を「昇龍道」の目玉にしよう！

昇龍道プロジェクト

【問】「昇龍道プロジェクト」の推進にあたって、多くの中国人観光客を迎えるため、今までの観光のあり方を再検証しつつ新しい観光のあり方を再構築する必要がありと思うが、市の考えは。

【答】このプロジェクトは、特に中華圏の観光客を誘致するのに非常に有効だ。この好機を活かし、中部運輸局



「昇龍道プロジェクト」公式ロゴ

と、中国総領事といった各国の政府機関、中部地域の各県や市町村、各種団体・事業者などと連携を密にして、積極的に取り組んでいきたいと考えている。

【問】「昇龍道プロジェクト」を成功させるには、まず市民が重要性を理解する必要がある。その啓発が大切だと思われるが、市の考えは。

【答】プロジェクトのポスターやチラシなどを有効活用して市民理解を深めたい。同時に、おもてなし研修などの開催や、中国など

森林・林業の再生策

際交流の促進といった取り組みの中で、市民の皆様への啓発を図りたいと考えている。

【問】国では「森林・林業再生プラン」が展開されていて、林業の再生に力を入れるなかで大きな産業へ育てようとしているところ。森林は市の最大の資源であり、その有効活用は、山林所得の還元にとどまらず雇用や地域の活性化などからみても、極めて重要なことである。市の林業再生への取り組みと、その課題・対策は何か。

【答】市は作業道整備を重点的に進めている。「森づくりプロジェクト」などを5地域で実施しており、木材の生産体制は着実に整いつつある。低コストで安定的、かつ大量に供給できる木材生産体制を構築することが大切であると考えている。



松葉 晴彦 議員

商工会の大幅改編 今後の方向と支援は!!

県下5ブロック制の商工会組織

【問】高山市の3商工会の現状と課題は。

【答】高山西・南・北の3商工会があり、会員1231名で合併時より12%減。現状の課題は、既存事業の見直し、企業支援業務の指導員の専従・強化など。

【問】4月からスタートの新体制の概要は。

【答】県下5ブロック制。飛騨3市1村が飛騨ブロックとなり、広域支援室・広域専門指導員が配置される。

【問】広域・専門性のメリットは。

【答】多岐での企業支援力が求められる中、商品開発・販路拡大・新分野進出・金融計画など、高度で専門的な

新しい射撃場の建設

【問】新射撃場における現状と課題は。

【答】長年の課題であった高山猟友会と飛騨猟友会が統合し、事業主体としての体制が整った。課題として資金計画や運営計画、林地開発の協議などがある。

【問】建設の見通しは。

【答】国で審議中の鳥獣被害防止法改正に射撃場の財政措置があり、早期建設につながるものと期待している。



鳥獣害対策に必要なが、現在地での更新が困難な射撃練習場